

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成25年4月18日(2013.4.18)

【公開番号】特開2012-15577(P2012-15577A)

【公開日】平成24年1月19日(2012.1.19)

【年通号数】公開・登録公報2012-003

【出願番号】特願2010-147140(P2010-147140)

【国際特許分類】

H 04 B 10/40 (2013.01)

H 04 B 10/50 (2013.01)

H 04 B 10/60 (2013.01)

H 04 J 14/00 (2006.01)

H 04 J 14/02 (2006.01)

H 04 L 12/44 (2006.01)

【F I】

H 04 B 9/00 Y

H 04 B 9/00 E

H 04 L 12/44 2 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月1日(2013.3.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

光伝送路(40)と、

互いに異なる上り波長及び下り波長を使用する複数の第1の光送受信装置(12-1~12-n)と、

当該複数の第1の光送受信装置と通信する複数の第2の光送受信装置(50-1~50-n)と、

当該複数の第1の光送受信装置が出力する下り光を波長多重し、光伝送路からの多重化された上り光を当該複数の第1の送受信装置のそれぞれに向かう上り光に波長分離する第1の波長多重分離手段(14)

とを具備し、

当該光伝送路が、

当該複数の第2の光送受信装置が出力する上り光を波長多重し、当該第1の波長多重分離手段で多重された当該下り光を、当該複数の第2の送受信装置のそれぞれに向かう下り光に波長分離する第2の波長多重分離手段(46)と、

当該第1の波長多重分離手段と当該第2の波長多重分離手段との間に配置される反射器(44)

とを具備し、

当該第1の光送受信装置が、当該複数の第1の光送受信装置が使用する全部の下り波長と、当該複数の第1の光送受信装置が使用する全部の上り波長とを多重分離する第1のWDMカプラ(28)と、信号光源となる第1の波長可変光源(24)を具備する第1の送信装置(22)と、第1の受信装置(30)と、当該第1の送信装置(22)の出力する下り光の、当該反射器(44)による第1の反射光を受光する第1の受光器(32)と、当該第1の送信装置(22)の出力する下り光を当該第1のWDMカプラ(28)に供給

し、当該第1のWDMカプラ(28)からの、当該第1の反射光を当該第1の受光器(32)に供給する第1の光カプラ(26)と、当該第1の受光器(32)により受光される当該反射光のレベルに応じて、当該第1の反射光のレベルが所定値以上になるように当該第1の波長可変光源の波長を制御する第1の制御装置(34)とを具備することを特徴とする光伝送システム。